

# モロッコ王国駐日大使が来町

九月二十一日と二十二日の二日間、モロッコ王国のサミー・アルール駐日大使が来町されました。今回の来町は、モロッコ王国モハメッド六世国王が仁多米を食されているという情報から、井上町長がモロッコ大使館を表敬訪問し、駐日大使の来町が実現しました。

## モロッコと地中海料理の夕べ、

### アルール駐日大使歓迎レセプション

九月二十一日、亀嵩温泉「玉峰山荘」でアルール駐日大使の歓迎レセプションが行われ、約百人が集まり大使夫妻を歓迎しました。

会場には、モロッコ産の力サブランカビールや色鮮やかなモロッコ料理、地元食材を使った日本料理などが用意され、参加者の目と舌を楽しませていました。



鮮やかなモロッコ料理

また、アルール駐日大使は、日本語であいさつされ、参加者との記念写真にも気さくに応じられ、会場は和やかな雰囲気になっていました。

参加者にとって、遠く離れた異国の地であるモロッコを身近に感じた夜になりました。



参加者と記念写真を撮るアルール大使

## 一味同心塾で稲刈り体験



ハデ掛け作業の様子

翌日二十二日は、上阿井の一味同心塾で行われた稲刈りに参加されました。

大使夫妻は、日本の伝統的な農作業に身を包み、鎌を使った刈り取りに挑戦されました。東京出身の唱子夫人にとっても初めての稲刈りで、鎌の扱いに悪戦苦闘しながらも、約六十人の参加者と一緒に稲刈りを楽しんでおられました。



稲刈りに挑戦するアルール大使

## 奥出雲多根自然博物館で開催

### 「魅惑のモロッコ展」太古の生きものたち



展示物を観賞するアルール大使

ブンを祝いました。

会場には、モロッコで発掘された普段見ることのできない三葉虫などの貴重な化石やモロッコ王国の紹介パネルなどが多数あり、来場者は一いつひとつ興味深そうに見入っていました。



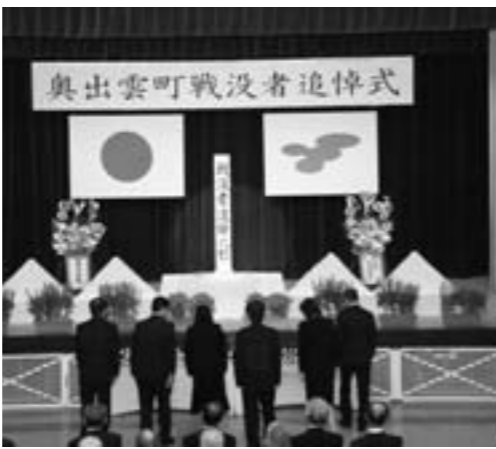
テープカットの様子

## アルール駐日大使から町民のみなさんへ

稲刈り体験は私にとって非常に興味深い体験でした。モロッコ展の内容も素晴らしく、櫻井邸の日本庭園にも感銘を受けました。短い滞在でしたが、奥出雲は豊かな土地で働き者の方が非常に多いという印象です。

モロッコも農業国なので、水利の活用など大変興味深く、学ぶことがたくさんあると感じました。今回の交流をきっかけに、奥出雲町と文化的、人的交流を将来にわたって続けていきたいです。

## 平和への誓い新たに 戦没者追悼式



先の大戦で亡くなられた戦没者の冥福を祈る「奥出雲町戦没者追悼式」が九月八日、町と社会福祉協議会が主催し、横田コミュニティセンターで行われました。

会場には、各地区の遺族会会員など約二百五十人が参列し、一分間の黙祷や霊前への献花を行い、八百九十三柱の英霊に追悼の意を送りました。井上町長から「先の大戦から学びとった多くの教訓を心に刻み、世界の恒久平和を願う」と、奥出雲町のさらなる発展を誓います」と式辞がありました。



追悼の言葉を述べる安部さん

また、遺族を代表して横田地区遺族会の安部且彦さんが「世界平和の実現は、戦争の犠牲となった多くの方々の願いである。日々の暮らしの中で、人への思いやりや他人のために働くなどの心がけにより、世の中の平和を実現したい」と追悼の言葉を述べられました。このように恒久平和を願う一方で、世界各地では今もなお戦争が続く、数多くの命が失われています。戦争の悲惨さ、平和の貴さをあらためて認識し、後世に伝え、郷土の発展に努めていかなければなりません。

## 長谷川公子さん(下阿井) 島根県交通安全協会長賞を受賞

9月6日、松江市で開催された第27回交通安全高齢者の主張島根県大会で、長谷川公子さんが島根県交通安全協会長賞を受賞されました。

この大会は、高齢者の交通事故を防止するため、高齢者自身に広く体験事例や意見等を発表する機会を設け、県民の交通安全に対する意識を高めることを目的に、毎年開催されています。

この日は、島根県内の各地区から選抜された7人が、交通事故防止に関する自己の体験や日常感じていることなどについて発表しました。

雲南地区代表の長谷川さんは、「こわい車はやだよ」をテーマに交通安全啓発看板の設置の経緯と交通事故の経験について発表し、聴衆の皆さんにわかりやすい話し方と、発表の内容が評価され、この度の受賞となりました。



## JA雲南、共済連島根 カーブミラー11基を寄贈

秋の交通安全運動に合わせ、JA雲南と共済連島根から奥出雲町にカーブミラー11基が寄贈されました。

9月26日、JA雲南の赤名秋夫常務理事が役場を訪れ、「人命保護と被害の軽減のため、積極的な活用をお願いします」と、趣意書と目録を井上町長に手渡しました。

今回寄贈されたカーブミラーは、各地区からの要望などを考慮して、順次設置し、交通事故防止に役立てられます。



趣意書と目録を井上町長に手渡す赤名常務理事(右)